学校番号	３０４

令和３年度　芸術科美術

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	美術Ⅱ「高校美術２」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

絵画、デザイン、油彩、鑑賞の4分野について学ぶ
ﾃｰﾏを設定し創造的に表現できる様工夫する
観察して、表現する基礎的な力を身近なものを対象に学ばせる。
自己の内面表現、個性ある作品作りを考えさせ、集中力洞察力をたかめる。

2　学習の到達目標

創作活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術や芸術文化に関心を持ち、個性有る創造力の向上、創作に対する意欲、制作に取り組む態度と熱意	自己を追求し、個性ある作品作りをめざし、 常に自己との対話を欠かさず作者の感情や気持ちが画面に表現されているか。	創意工夫を生かした作品つくりを念頭に置き描く、見る、修正してまた描くという繰り返しの過程を大切にし創造能力を高めるため、用具、画材を活用しているか	今ある知識をもとに制作していく中で自分に合った表現方法、知識をクリエイトしていく、合評会を通じお互いの優れた面を見出す。
評価方法	観察 提出作品	観察 下絵、ラフスケッチ 提出作品	観察 提出作品	観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	美術履修	オリエンテーション	○				a:　:美術の多様な表現に関心を持てるか	観察
	デッサン	鉛筆の使い方、遠近法 鉛筆想定デッサン、	 ○		○		a:素描について理解できた ｃ:遠近法、陰影、質感基本的な明度表現、鉛筆の使い方がみについたか	観察 課題作品
	自画像	自画像デッサン イラスト表現 油彩画		○ ○ ○	○ ○ ○		b:　技法の違い表現方法の違いが理解できているか c:　画材の違いによる自己表現は適切であったか	観察 課題作品
二学期	平面デザイン	B3サイズに色彩構成 課題作品 自由作品	○		 ○ ○		a:意欲的に下絵作りにとりくんだか ｃ:創造性、構成、作品の意図を明確にするための工夫がされているか	観察 課題作品
	ロゴデザイン	マーク 文字の制作	○ ○		 ○		a:ﾃｰﾏの特徴を理解しオリジナル作品制作アイディアスケッチに意欲的に取り組んだか c:政策の手順を理解し計画的制作しているか	観察 課題作品
三学期	レタリング		○		○		a:オリジナル技法、用具を理解したか ｃ:色彩感覚をいかして制作、画材の使用方法を理解しオリジナル作品がつくれたか	観察 課題作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。